

## 感謝の気持ちを込めて



12月12日、院内各所で当院のサービス向上に貢献してくださっているボランティアの皆様をお招きし、ボランティア感謝デーを開催しました。ボランティア活動をしてくださっているご夫妻が素晴らしいマンドリン演奏を披露してくださいました。また、病院長をはじめ職員と日頃の活動をお話するなどして交流を深めていただき、楽しいひとときを過ごしました。

【理念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
医療保護施設・地域医療支援病院

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL



聖隷三方原病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。

## 年頭所感 2013年1月1日



「あけましておめでとうございます。」

昨年の12月に聖隷三方原病院は、満70歳を迎えました。勿論、聖隷福祉事業団の施設の中では最古参です。ここが聖隷発祥の地として、これからも事業団すべての職員のふるさととなれますような組織作りを心掛けます。人間は年齢と共に老化が進みますが、当院は老朽化した設備、機器は最新型のものに入れ換えることにより、年を追う毎に内容が充実しています。昨年導入しました手術支援ロボットも安全性と低侵襲性が確認され、高齢化社会に増加する前立腺疾患を対象に症例を重ねています。今年も加速する超高齢化社会に順応した医療サービスの充実をめめます。建物や職員は時代と共に変わってゆきますが、聖隷三方原病院はこれからもずっとこの地に根ざし、地域の皆様の健康を守り続けます。

今年1年が皆様方にとりましてよい年でありますように！本年もどうぞよろしくお願いたします。



聖隷三方原病院  
病院長 荻野 和功

「みどりの通信」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

皆様から寄せいただいたご意見・ご感想を今後の誌面作りの参考にさせていただきます。

e-mail: mkwebmaster@sis.seirei.or.jp FAX: 053-438-2971 みどりの通信編集部

# おしらせ



## がん患者さんのためのおしゃべり会「じゃがいも」

同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？  
おしゃべり会は皆さんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日 時：1月24日(木) 13:30~14:30  
場 所：聖隷三方原病院 管理棟 2階 第7会議室  
対 象：がん患者さんとご家族  
お問い合わせ：よろず相談地域支援室  
浜松がんサポートセンター  
TEL：053-439-9047



## ボランティアを募集しています

当院でのボランティア活動に関心をお持ちの方は、  
「ボランティア説明会」にぜひご参加ください。

日 時：2月8日(金) 14:00~15:30  
場 所：聖隷三方原病院 ホスピス2階 研修室  
お申込みは2月1日(金)までに下記担当者までお願いします。  
お申込み・お問い合わせ：聖隷三方原病院 ボランティア担当 鈴木  
TEL：053-436-1251 (代表) 内線 6332  
E-mail：mishizu@sis.seirei.or.jp

## 看護師募集について ～就職・復職をお考えの方へ～

聖隷三方原病院では看護師を募集しています。  
随時、病院見学・ご相談を承っておりますので、担当者  
までご連絡ください。

また、看護師として就職・復職を考えておられるお知  
り合いがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。  
お問い合わせ：総務課 担当：平田・鈴木・山田  
TEL：053-439-9050 (直通) FAX：053-438-2971  
E-mail：mkwebmaster@sis.seirei.or.jp

## 栄養課通信 1月

### 地産地消～静岡県の食材～

#### ⑨プチヴェール(磐田)

1990年に磐田市(豊田町)生まれの野菜で全国シェアの95%が県内産  
です。

青汁で使われるキャベツの品種のケールと芽キャベツの交配で作られてい  
て、ピンポン玉程度の大きさです。小さな緑のバラのような形状でこれから冬  
にかけて美味しい時期になります。

ビタミンC・カロテン・鉄分・カルシウムが高く栄養価のバランスがよく、  
糖度が高いため甘みがあります。食べやすい一口サイズなので熱湯で1~2  
分茹でただけでどんな料理にも相性がよく、色鮮やかで料理の彩りに使いや  
すい野菜です。

これからの季節お店で見つきましたら、ぜひ手にとってみてください。

## 簡単！旬のレシピ

### プチヴェールと エビの簡単クリーム煮

《栄養価 1人分》

エネルギー	257kcal
蛋白質	18.0g
食物繊維	5.5g
ビタミンC	120mg
塩分	2.3g

4人分

プチヴェール .....8~10個(300g)  
むき海老 .....200g  
ベーコン .....4枚  
塩こしょう .....小さじ1/3  
オリーブ油 .....大さじ1  
にんにく .....ひと片  
(ソース)  
牛乳 200ml .....200ml  
コンソメ .....小さじ1/2  
片栗粉 .....大さじ1  
こしょう .....お好みで



- ① プチヴェールは半分に切って軽く茹でる。ベーコンは1cm幅に切る
- ② フライパンにオリーブ油とにんにくを入れ熱し、ベーコンを炒める
- ③ ベーコンに焦げ色がついたら、むき海老を入れて炒める
- ④ 牛乳とコンソメを加えて弱~中火で煮込み、プチヴェールも入れる
- ⑤ こしょうで味を調えたら、水溶き片栗粉を加えてトロミをつける

※ プチヴェールを芽キャベツやブロッコリーに変えても楽しめます

栄養士 市川 尚巳



# 咳嗽【がいそう=咳(せき)】について

咳は患者さんが医療機関を受診する症状のうちで最も頻度の高いものの一つです。私たち呼吸器内科医が咳のある患者さんを診察するときには、まず咳の持続している期間と喀痰【かくだん=痰(たん)】の有無を聞いて、おおまかに咳を分類します。

咳は持続する期間により、3週間未満の「急性咳嗽」、3週間以上8週間未満の「遷延性(せんえんせい)咳嗽」、8週間以上の「慢性咳嗽」に分類されます(図1)。また、咳と一緒に痰が出るかどうかで「乾性(かんせい)咳嗽」と「湿性(しつせい)咳嗽」に分類

されます(表1)。このように持続期間と痰の有無で分類し、これらを組み合わせることで、咳の原因がある程度推定できるようになります。

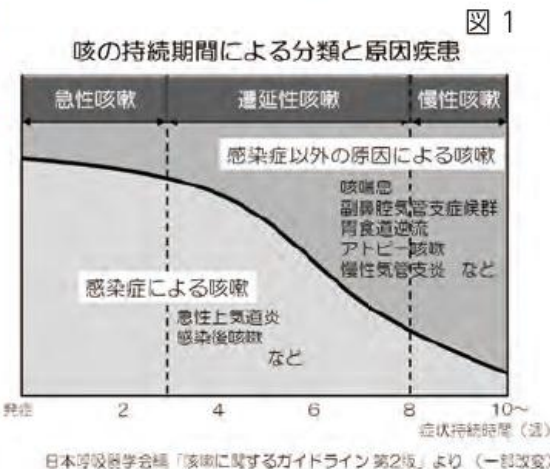


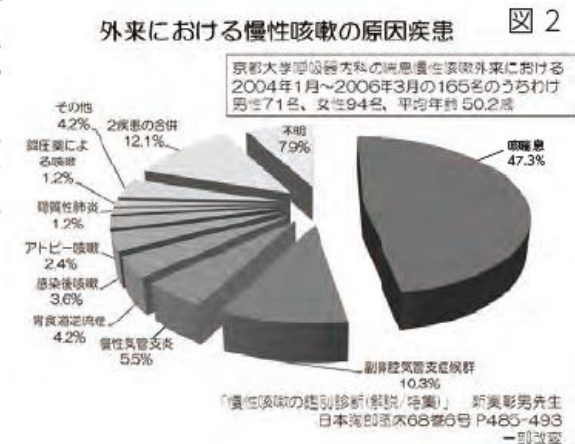
表1 痰を伴うか否かによる咳の分類

乾性(かんせい)咳嗽	湿性(しつせい)咳嗽
痰は伴わないか 少量の粘液性喀痰のみを伴う	咳嗽のたびに喀痰を伴い 喀痰を喀出するために生じる咳嗽

急性咳嗽の原因はいろいろありますが、大半は感冒(かんぼう)を含む気道の感染症で、咳の期間が長くなるにつれて、感染症以外の原因の頻度が高くなります。感冒の多くは乾性咳嗽ですが、細菌感染が加わると黄色い痰を伴う湿性咳嗽となって来ます。

慢性咳嗽の中では咳喘息(せきぜんそく)が最も多いと言われています(図2)。咳喘息では「ゼーゼー、ヒューヒュー」して息苦しいという典型的な喘息症状を伴いませんが、喘息と同様の適切な治療が行われないと3割程度の方で典型的な喘息に移行するといわれています。これ以外には蓄膿症(ちくのうしょう)に慢性気管支炎が合併し湿性咳嗽が続く副鼻腔気管支症候群や胃酸の逆流により生じる乾性咳嗽で、胃酸の分泌を抑える胃薬が有効な胃食道逆流といった病気が慢性咳嗽には含まれてきます。

持続期間と痰の有無以外にも病気ごと



呼吸器科 部長  
横村 光司

で咳の特徴が少しずつ異なります。例えば、夜間から明け方に強い咳や、去年の同時期にも同じような（季節性にくりかえす）咳があった場合には咳喘息を疑いますし、鼻みずや鼻づまり、後鼻漏（こうびろう；鼻水がのどにたれ込む症状）を伴う場合には副鼻腔気管支症候群が疑われ、胸やけやゲップなどの消化器症状があれば胃食道逆流を疑う、といった具合です。

このようないくつかの咳の特徴を患者さんから教えてもらい、聴診所見や胸部レントゲンを組み合わせて診断を行うのですが、肺機能検査、喀痰検査、血液検査、場合によっては胸部CT検査等も鑑別診断に必要な場合もあります。また、慢性咳嗽に移行する場合でも発症当初はすべて急性咳嗽の形を取りますし、なかには肺炎、肺癌、間質性（かんしつせい）肺炎、肺結核、肺塞栓（そくせん）症などの頻度は低いながら重症化する病気が含まれる場合もありますので注意が必要です。

同じ「咳」という症状であっても、原因によって治療法が異なりますので、咳で悩まれている方がいらっしやいましたらぜひ呼吸器内科に御相談ください。

第40回  
聖隷三方原病院  
病院学会写真  
コンクール



院長賞 亀井 香那子 様 「初めての鮎」

当院をご利用の皆さまへ

来院される際に発熱・咳などの症状がある方は、マスクの着用をお願いします。

また、抵抗力の弱いお子様やご高齢の方の入院患者様へのご面会はできるだけご遠慮ください。

なお、職員におきましても自らが感染源とならないよう、一部マスクを着用しております。ご理解とご協力をお願いします。

ご家庭に戻られた時には手洗い・うがいをしましょう。



編集後記

1月は睦月とも呼ばれます。名前の由来として親族が互いに往来し、宴をするからといわれています。新年を迎えて初詣、新年の挨拶など予定されている方も多いのではないのでしょうか。寒気の厳しい季節ですので、寒さ対策を万全にして出かけましょう。